# 御蔵入交流館文化ホール 実績と今後の運営方針は

**【町長】文化の拠点にとどまらず、将来はにぎわいと交流の場にしたい**

湯田　哲 議員

**問1　文化ホールは、本町の芸能、文化の発展に大いに貢献していることは間違いないが、町にとってどのような存在で、未来の役割をどのように考えるか。**

**町長**　町民の文化活動と健康づくりの拠点施設と位置づけています。

将来の展望は、単に文化の拠点にとどまらず、癒やしの空間の創造と来町される方々への南会津全体のインフォメーション機能とをあわせ持つような、にぎわいと交流の場としたいと強く考えています。

**問2　今後の公演の予定は。**

**教育長**　町民手づくり公演と、クリスマスに予定しているハートフルコンサートです。このコンサートは、町内の小中学校などを訪問し、一流の演奏家と子供たちが身近に触れ合える交流事業として実施します。

**問3　文化ホールで実施された主な公演名、入場者数、町からの支出額は。**

**教育長**　国の外郭団体による助成事業で実施した音楽座ミュージカル「アイ・ラブ・坊ちゃん」は、入場者が201人で、費用の負担はありませんでしたが、広告宣伝費用の一部で15万円程度の支出となりました。

町で直接招致した劇団四季のミュージカル「ユタと不思議な仲間たち」は、610人の入場者があり、公演費用の支出は、228万円となっています。

**問4　文化ホールを運営する上での問題点、課題、対策及び町民の考えやアイデアを取り入れる工夫は。**

**文化ホールの運営が一部の人たちに負担がかかり過ぎていないか。**

**教育長**　文化ホールを運営していく上で最も重要なものは、専門的な知識と経験が必要であり、担当する職員が出演者と観客の橋渡しをすることと考えています。町民のアイデアを取り入れる工夫は、アンケート調査などにより観客の好みの把握を行い、文化ホール運営委員会で検討しています。さらには、文化ホール友の会のような組織の立ち上げも考えています。

人権ミュージカルの入場者

文化ホールの自主事業等の運営は、文化ホール運営委員会が主体となって活動しています。この委員は、ボランティア参加なので、委員それぞれが自主的に参加し、運営していることから、一部の人たちに負担がかかり過ぎるということはないと考えています。

# 図書館の広域的な活用を

**【教育長】各教育委員会分室で貸し出しできる体制を整備したい**

**問1　図書館運営の現在の問題点、今後の課題と、町民のみならず南会津地域の図書館としてあるべき姿、未来像は。**

**教育長**　旧4町村のそれぞれの地域でも等しくサービスを受けることが必要で、今後は舘岩・伊南・南郷の各教育委員会分室でも貸し出しができる体制を整備したいと考えています。図書館の役割は、町民の知的好奇心を満たし、多くの情報、知識を町民に提供するとともに、町民同士を結びつけるかけ橋になることだと考えています。

図書館のあるべき姿、未来像は、南会津ならではの資料を重点的に選定し、本町の4地域の特色を反映した資料をそろえるなど、図書館だけでなく、それぞれの地域と連携を図り、町民からの意見なども反映しながら、独自の図書館をつくっていきたいと考えています。

**問2　図書館の蔵書規模と利用状況は。**

**生涯学習課長**　平成19年3月31日現在の資料数は表のとおりです。

平成18年度の総貸し出し数は4万2340点、1日の平均利用者数は43人、平均利用冊数は147冊です。世代別の利用状況は、30歳から40歳代の女性の利用が1万2760点と最も多く、続いて、小学生の利用が8843点、未就学児の利用が3045点となっています。曜日別の利用状況は、土曜日の利用が最も多く1万743点、続いて、日曜日が1万130点と、全体利用数の約49%を占めています。

**図書館の資料数**

| 区分 | 資料数 |
|---|---|
| 一般書・児童書<br>郷土資料・絵本<br>紙芝居 | 41,582冊 |
| DVD・ビデオなど視聴覚資料 | 716点 |
| 雑誌など逐次刊行物 | 1,771冊 |
| 合計 | 44,069点 |

**図書館の分野別資料数**

| 分野 | 資料数 |
|---|---|
| 文学 | 15,412冊 |
| 歴史 | 5,256冊 |
| 社会科学 | 4,064冊 |
| 自然科学 | 3,217冊 |
| 芸術 | 3,144冊 |